

和田

スローガン

みんなで安全・安心の幸せの輪をつなげよう和田

実践目標①防災訓練を通して防災意識を高めよう

実践目標②誰もが参加しやすい地域のつながいをつくろう

実践目標③安心して暮らせるための情報をPRしよう



和田地区は田畑や果樹園等があり農業に携わる人が多く、元気な高齢者が多いことが特徴であるとともに、自動車製造工場や中津港付近の工業団地などの企業を有した地域でもあります。

いきいきサロンの活動や週一体操、老人会での集まり、子ども食堂等地域の中で交流する機会が増えつつあり、住民の活動が徐々に広がりを見せています。

	2011 (H23) 年	2016 (H28) 年	2021 (R3) 年
人口	2,858	2,772	2,674
世帯数	1,229	1,282	1,307
高齢化率	25.0%	29.5%	32.0%
一人暮らし高齢者	163	214	232
高齢者のみの世帯		570	595
0~18 歳人口	478	425	376

※各年ともに9月30日時点のもの(中津市の統計データより)

実践目標と設定理由・効果

実践目標①

防災訓練を通して防災意識を高めよう

「遠浅の海だから津波の心配がないので防災は意識していない」「災害の被害にあった経験が無いから防災意識が低い」等の問題があり、災害に対する危機意識が低い傾向にあるとの意見が多く出ました。

身を守るために必要な情報を広げ、一人では避難が困難な方でも周囲の協力で安全に避難できるように日頃からの関係づくりを進めることで、安心して暮らせる地域づくりにつながります。

実践目標②

誰もが参加しやすい地域のつながりをつくろう

「交流の場があるのか知らない」「リーダーがいなくて交流の場が増えない」など、地域で交流する場・機会はあるものの、情報不足により活動する方が減っているという問題が出ました。

今ある活動（サロン・週一体操など）を広げるとともに、地域で活動する方同士が集まる機会を設けることで、情報が広がり、地域のつながりが深まり人財の育成にもつながります。

実践目標③

安心して暮らせるための情報をPRしよう

「どこに相談したら良いかわからない」「困った時に頼れる人がいない」「どのような支援・制度があるかわからない」など、困りごとがあっても情報が不足しているため相談できず不安を抱え、必要な支援につながっていない方がいるのではないかという意見が出ました。

様々な形で情報を発信することで早い段階で相談ができるようになり、安心して暮らせる地域づくりにつながります。

他にも出ましたこんな課題!!



相談しやすい
環境を
つくろう

見守りの支援
体制をつくろう

寄り添う環境を
つくろう

【和田】

活動内容		進 捗				
		R4	R5	R6	R7	R8
多世代が参加・体験できる防災訓練を開催する	①小規模単位					
	②校区単位（コミュニティーセンターが会場）					
地域の防災関係者で何から始めたらよいか話し合いをする						
災害時に一人では避難できない人の確認方法を検討する						
地区の防災情報を発信する						
年に複数回避難訓練をし、参加者増加を図る						
地域で活動する関係者が連携し集まる場をもつ						
サロンやネットワークづくり等、他地区の取り組みを知る						
サロンの内容等、情報提供をする						
週一体操への若い世代への参加を促す						
世代交代を意識し、新しい人が入りやすいようにする						
誰でも徒歩で行ける範囲に交流できる場をつくる						
サロンが無い地区にサロンを広げる						
一覧表等をつくり、相談窓口を分かりやすくする						
地域の情報誌をつくる						
若い世代に対して情報発信する						
回覧板や情報掲示などを活用する						
成年後見やひきこもりなどの制度や相談窓口の情報発信をする						

住民同士で支え合える
仕組みをつくらう



住民型有償サービスを
を立ち上げよう



コミュニティーセンターや
集会所を有効活用しよう

第4次の実践目標はこうして決まりました

和田地区の「地域のつながりアンケート」結果

回答者数	67人（男性26人/女性41人/無回答0人）
回答者年代	中学生・高校生：4名、20代：2名、30代：7人、40代：5人、 50代：6人、60～64歳：4人、65～74歳：21人、75歳以上：18人

内容抜粋 無回答分は除いています

<p>【問 1-5】高齢者と若い人など、世代の異なる人同士の交流の機会がある</p> <table border="1"> <tr><th>回答</th><th>割合</th></tr> <tr><td>わからない</td><td>37%</td></tr> <tr><td>ある</td><td>24%</td></tr> <tr><td>ない</td><td>39%</td></tr> </table>	回答	割合	わからない	37%	ある	24%	ない	39%	<p>【問 1-6】気軽に参加できる住民同士のサロンがある</p> <table border="1"> <tr><th>回答</th><th>割合</th></tr> <tr><td>わからない</td><td>47%</td></tr> <tr><td>ある</td><td>32%</td></tr> <tr><td>ない</td><td>21%</td></tr> </table>	回答	割合	わからない	47%	ある	32%	ない	21%
回答	割合																
わからない	37%																
ある	24%																
ない	39%																
回答	割合																
わからない	47%																
ある	32%																
ない	21%																
<p>【問 2-1】地域でボランティア活動が盛んである</p> <table border="1"> <tr><th>回答</th><th>割合</th></tr> <tr><td>わからない</td><td>42%</td></tr> <tr><td>そう思う</td><td>22%</td></tr> <tr><td>そう思わない</td><td>36%</td></tr> </table>	回答	割合	わからない	42%	そう思う	22%	そう思わない	36%	<p>【問 2-4】わたしが困ったら支えてくれる人や仕組みがある</p> <table border="1"> <tr><th>回答</th><th>割合</th></tr> <tr><td>わからない</td><td>38%</td></tr> <tr><td>そう思う</td><td>39%</td></tr> <tr><td>そう思わない</td><td>23%</td></tr> </table>	回答	割合	わからない	38%	そう思う	39%	そう思わない	23%
回答	割合																
わからない	42%																
そう思う	22%																
そう思わない	36%																
回答	割合																
わからない	38%																
そう思う	39%																
そう思わない	23%																
<p>【問 3-5】ひきこもりの人の支援がもっと必要である</p> <table border="1"> <tr><th>回答</th><th>割合</th></tr> <tr><td>わからない</td><td>52%</td></tr> <tr><td>そう思う</td><td>43%</td></tr> <tr><td>そう思わない</td><td>5%</td></tr> </table>	回答	割合	わからない	52%	そう思う	43%	そう思わない	5%	<p>【問 4-1】災害が起こった時のことを考えると不安である</p> <table border="1"> <tr><th>回答</th><th>割合</th></tr> <tr><td>わからない</td><td>6%</td></tr> <tr><td>そう思う</td><td>88%</td></tr> <tr><td>そう思わない</td><td>6%</td></tr> </table>	回答	割合	わからない	6%	そう思う	88%	そう思わない	6%
回答	割合																
わからない	52%																
そう思う	43%																
そう思わない	5%																
回答	割合																
わからない	6%																
そう思う	88%																
そう思わない	6%																

アンケート結果から作業部会で出た意見(課題)

- ・「子ども食堂」で高齢者も受け入れる交流の場にする
- ・PTA・学校と協力して関わりのきっかけづくり
- ・近所づきあいをしっかりしておく
- ・認知症のことを相談できる認知症家族の会とのつながり
- ・ゴミ出しルールのPRや地区説明会の開催
- ・防犯に関する多国語での看板などでのPR
- ・スクールガードや青パト等の更なる充実

作業部会で出された、和田の良いところ

- 仕事や趣味（花作りや畑作業）を充実させている
- 公園などで子どもが遊んでいるのを見かける
- 地区の行事で交流がある（水路清掃、祭り、どんど焼きなど）
- 青壮年会で高齢者・若い人と話す機会がある
- 地域の親和会（老人会）はお宮掃除、壮年会でも活動がある
- みどりこども園と世代間交流の機会がある
- 子ども食堂が交流の場になっている
- 隣近所とのつながりがある
- 住民同士で日頃から気にかけて、声かけ合っている
- お野菜や果物のおすそわけは日常茶飯事です
- ゴミの収集場所がいつもきれいに管理されている
- 防犯パトロールの車や活動している人を多く見かける
- スクールガードが機能していると思う



様々な意見をもとに作業部会で整理をし、第4次地域福祉活動計画を作っていました



和田の社会資源

(R3年度現在、登録状況や作業部会の方々の意見を参考に作成しています)

お宝 (住民による住民のための支え合いや参加を進める活動のことです)

住民同士の 交流・つな がりの場	いきいきサロン (2)	陽だまりサロン (第4水曜・田尻老人憩の家) 諸田竹林元気クラブ (第4木曜・諸田区集会所)
	こども食堂	こども食堂“夢” (不定期の土曜日・田尻)
	週一体操教室(3)	諸田竹林元気クラブ (毎週木曜・諸田区集会所) 小路おげんきクラブ (毎週火曜・小路地区集会所) 陽だまり元気クラブ (毎週金曜・田尻老人憩の家)
ボランティ ア活動	給食ボランティア	なでしこ (第4土曜・田尻老人憩の家) たんぽぽ (第3水曜・小路地区集会所)
防災活動		消防団 防災士協議会和田部会
防犯活動		防犯パトロール、スクールガード 少年警察ボランティア協議会

地区内の相談窓口

高齢者の生活全般に関する相談 窓口	地域包括支援センター (高齢者相談支援センター) 三光園
民生児童委員による心配ごと相 談窓口	毎月第3水曜 13:00 ~ 15:00 和田コミュニティセンター

その他の相談は、社会福祉協議会または市の総合相談窓口 (P.153参照) にお問い合わせ下さい